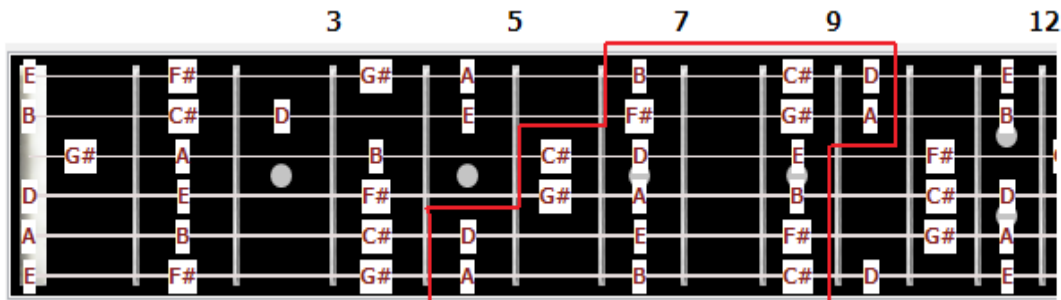


【ギタリスト超初心者講座～第10回～】スケールトレーニングをやってみる

では、始めていきましょう。

気をつけるポイントなどは、動画を参考にしてもらおうとして、最初の譜例を弾いてみましょう。

6弦5フレットのA音を基準にした、Aメジャースケールです。



譜例1、Aメジャースケール重要ポジション

ピッキングは基本的に、ダウン、アップを繰り返すオルタネイトピッキングで行います。

それぞれのトレーニングフレーズに対する指使いは、これまで学んできた事を活かして、自分で考えてみましょう。

他に気をつける事としては、余計な音を出さない為にミュートを実際に行うことや、各音をスムーズに繋げること、フォームの基点となる親指や左手全体のポジション移動、ピッキングのタッチを均等にしたり、強弱をつけたり、と、こんなところです。

動画の方では、『左手の角度を床やネックに対して垂直に』と言っていますが、どちらかと言えば、床に対して垂直になることは多いですが、ギターのネックに対しては、普通に構えるとネックが斜め上を向くので、左手は完全に垂直ではないですね。

この辺り、動画のフォームをよく見て、自分の弾きやすいフォームと照らし合わせてみてください。

では、解説はほぼ動画で行っていますので、テキストの方ではトレーニングフレーズを挙げていきたいと思います。

もちろん、このテキストに載っている以外にも、トレーニングパターンは沢山ありますので、各自お持ちの教則本やギター雑誌、動画などを参考にして、日々の練習に取り入れていきましょう。

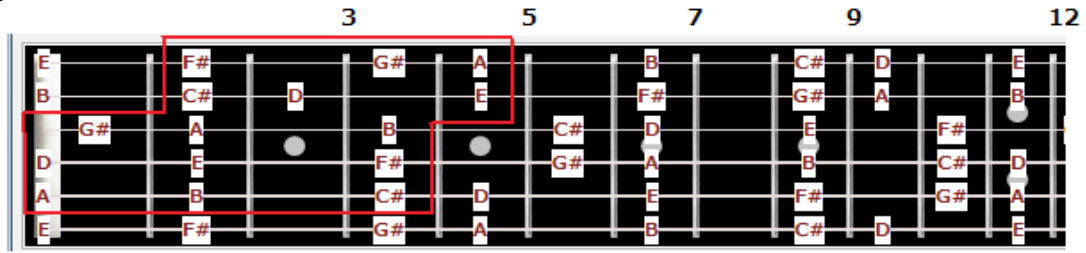
と言う事で、以下にメジャースケールの代表的なポジションをあげておきます。

まずは譜例 1 に続いて、A 音を基準にした A メジャースケールでいくつか紹介しますね。

譜例 2

The image displays a musical score for Example 2, featuring a fretboard diagram and a musical score with guitar and tablature. The fretboard diagram shows the A major scale across 12 frets, with a red box highlighting the 3rd, 5th, 7th, and 9th fret positions. The musical score is written for S-Gt (Solo Guitar) in 4/4 time, starting with a mezzo-forte (mf) dynamic. The score includes a treble clef, a key signature of two sharps (F# and C#), and a 4/4 time signature. The first system shows measures 1 and 2, and the second system shows measures 3, 4, and 5. The tablature is provided for both systems, with fingerings indicated by numbers 1-4 on the strings.

譜例 3



S-Gt

4/4 *mf*

1 2

TAB

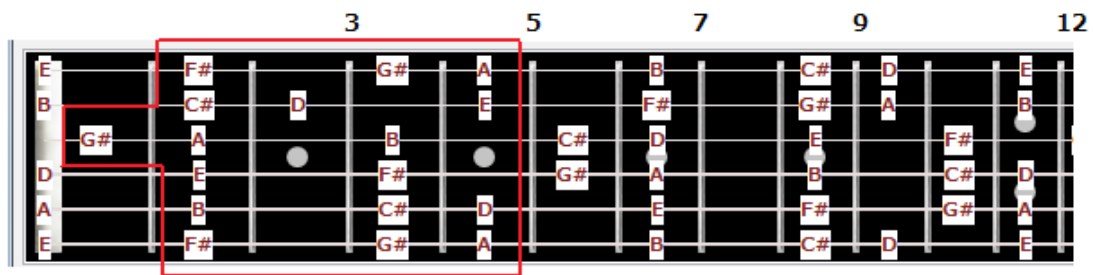
0 2 4 0 2 4 1 2 | 4 2 3 5 2 4 5

3 4

TAB

5 4 2 5 3 2 4 2 | 1 4 2 0 4 2 0

譜例 4



S-Gt

4/4 *mf*

1 2

TAB

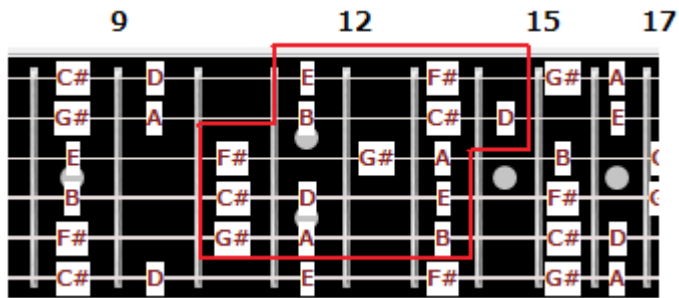
5 2 4 5 2 4 1 2 | 4 2 3 5 2 4 5

3 4

TAB

5 4 2 5 3 2 4 2 | 1 4 2 5 4 2 5

譜例 5



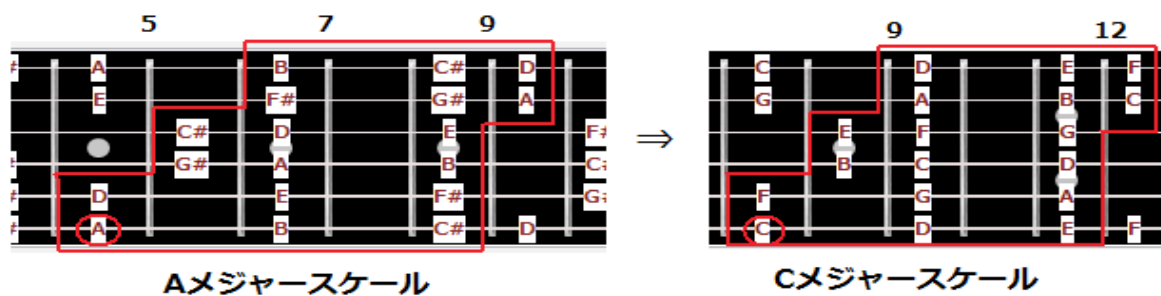
さて、大体この辺りがメジャースケールの重要なポジションになります。

最後に1つ、練習の提案なのですが、ギターでスケールを弾く場合、基準にする音を変えて、そっくりそのままスケールポジションの形をずらすと、違うキーのスケールが弾けてしまいます。

現時点では、キーがどうのこうの、という理屈は、理解している必要はありません。

ですがこういったことができる、と言う事をなんとなくで良いので、把握しておいてください。

例えば一番最初の A メジャースケールを弾いた形を、弾き始める音を 6 弦 8 フレットの C 音にすると、それは C メジャースケールになります。



この例を参考にして、Aメジャースケールで弾いていた各譜例を、Cメジャースケールにずらして練習してみる、と言う事もやってみてください。

もちろん、AやCだけではなく、どの音にでもずらすことができます。

自由に自分で練習メニューを作ってみましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼